

リフトバス「ながら号」 更新のお知らせ

本会では、障がいのある方をはじめ、介助を必要とする高齢者の方々が安心して旅行などを楽しみ、社会参加をしていただくことを目的に、車いす乗降用リフト付バス「ながら号」を運行しています。

このたび、バスの老朽化に伴い、4代目となるバスに更新され、2月1日から新車両の運行をしております。

【新車両の概要】

中型バス

定員：27名(座席：21、車いす固定席：3、補助席：3)

現在、2019年度の予約を受け付けておりますので、是非ご利用ください。

【問合せ先】 岐阜県社会福祉協議会 総務企画部

TEL：058-273-1111 (内線2538)



平成30年度 地域における 公益的な取組推進セミナーⅡ

今年度より実施している「ぎふ社会福祉法人地域公益実践推進事業(結プロジェクト)」の事業報告とともに、社会福祉法人の連携・協働事例や他県における市町村域での連絡協議会の実践を学ぶことで、今後の実践につなげていくことを目的に開催します。

●日時 平成31年3月1日(金) 13:00~15:30

●会場 長良川国際会議場 4階大会議室

●対象 社会福祉法人の役職員、社協職員、行政職員等

●内容 ◆結プロジェクト事業報告

◆岐阜市における社会福祉法人連携の取組

◆瑞穂市における社会福祉法人連携の取組

◆講演

「地域で公益的な取組をすすめる社福法人連携
～各市区町で広がる“ほっとかへんネット”～」

全国社会福祉法人経営者協議会

経営強化委員長 谷村 誠氏

●申込 下記まで2/18(月)までにFAX

詳細は岐阜県社協HP「お知らせ」をご覧ください

●問い合わせ先

岐阜県社会福祉協議会 地域福祉部

TEL 058-273-1111 (内線2521)

研修申込みは、
「紙」から「ホームページ」へ

岐阜県社協研修

WINCシステム

ウイック

2019年3月末運用開始

ここが
便利に



- ・インターネットで研修申込み簡単*1
- ・研修助成の申請書も同時に作成*2
- ・受講履歴を一覧化し提供*3
- ・他機関の研修情報も掲載*4

*1…一部研修を除く。

*2…自動で作成した申請書に、代表者の印を押して本会へ郵送。

*3…本会へ照会いただくと、それまで(2019年度以降)の受講履歴を一覧にして提供。

*4…本会の「WINCシステム」以外に県内の主な福祉・介護の研修情報についてもアクセス可。



社会福祉法人
岐阜県社会福祉協議会
岐阜県福祉人材総合支援センター
電話058-278-1823 (研修直通)

平成31年3月 **入場無料**

福祉の仕事 ミニ就職 GIFU 就職 フェア

○学生さん大歓迎!
○転職の方大歓迎!

日時 3月5日(火) 11:00~15:00
会場 OKBふれあい会館 3階 302大会議室

<出展法人(求人事業所)(予定)>

医療法人社団志朋会/医療法人和光会/社会福祉法人和光会/株式会社アルト/株式会社アートジャパンガヤ設計/株式会社ユタカメディカシステムズ/株式会社ニチイ学館 岐阜支店/パナソニックエイジフリー株式会社/社会福祉法人岐阜老人ホーム/特定非営利活動法人障がい者自立センターつっかいぼう/社会福祉法人同朋会/社会福祉法人 誠広会/社会福祉法人さくらゆき/株式会社ニッケ・ケアサービス/医療法人社団 誠道会/社会福祉法人岐阜県福祉事業団/社会福祉法人羽島郡福寿会/社会福祉法人はしま/特定医療法人フェニックス/社会福祉法人フェニックス/株式会社 エステートホーム/社会福祉法人 井ノ口会 ※出展法人は、変更となる場合がございます。



主催：岐阜県・社会福祉法人 岐阜県社会福祉協議会
岐阜県福祉人材総合支援センター
(無料職業紹介所)
〒500-8385 岐阜市下奈良2-2-1 岐阜県福祉・農業会館
TEL：058-276-2510 FAX：058-276-2571



ありがとうございました!

第一生命労働組合岐阜支部様より 寄付金をいただきました

1月16日、第一生命労働組合岐阜支部(西村智執行委員長)様より、寄付金のご寄贈をいただきました。
同組合は、社会貢献活動の一環として、昭和62年より組合内で募金活動を実施し、県内の社会福祉施設へ寄付金を寄贈されており、本年度、本会を通じて県内の母子生活支援施設3ヶ所に計25万円が寄贈されました。
寄贈式においては、第一生命労働組合岐阜支部西村執行委員長より、県社協の中島常務理事に目録が手渡され、中島常務理事から第一生命労働組合岐阜支部に感謝状が贈られました。
また、寄贈先施設を代表して、きーとす岐阜の玉木施設長が、お礼の言葉を述べられました。



▲中央(右) 第一生命労働組合岐阜支部 西村執行委員長、中央(左) きーとす岐阜 玉木施設長、左 県社協 中島常務理事=岐阜県福祉・農業会館

一般財団法人 岐阜社会福祉事業協力会様 より寄附

一般財団法人岐阜社会福祉事業協力会様から、10万円の寄附をいただき、1月30日に感謝状の贈呈式を行いました。
当日は、本会の中島常務理事から林直康理事長へ感謝状を贈呈しました。
寄附金は、地域福祉の増進のため、本会事業において有効に使わせていただきます。



▲岐阜社会福祉事業協力会 林直康理事長(右)へ県社協 中島常務理事より感謝状を贈呈

地域づくりから災害支援を考えるシンポジウム

平成30年7月豪雨災害 その時、岐阜で 何が起きた!

日時 平成31年2月24日(日)10:00~16:00
会場 OKB ふれあい会館 第1棟3階 大会議室
〒500-8384 岐阜市葦田南5-14-53 TEL:058-277-1111
対象 社協・NPO・行政・自治会・企業・一般等

近年、全国各地に大規模な自然災害が頻発しており、「平成30年7月豪雨」では岐阜県内各地で大規模な被害となりました。
今回の被災から、改めて見えてきたのが「日頃から取り組みやつながり」でした。
自助として、普段からのような取り組みをいけばよいのか、
共助として、普段からのようなつながりを作っておけばよいのか、
「災害にも強い地域づくり」のために、今、何ができるのか、県内で起こった災害を経験しながら、社協、NPO、行政、自治会など、様々なセクターと共に考えていきます。

プログラム

- ◆基調講演 「災害時にも活きる、普段のことを考える」10:10~11:00
講師:高山弘毅氏(Nukitoto代表)
- ◆パネルディスカッション 「その時、誰で何が起きた!」11:00~12:00
登壇者:山田仁司氏(岐阜社会福祉協議会) 浦野愛氏(NPO法人レスキューズ・ストックヤード)
コーディネーター:高山弘毅氏(Nukitoto代表)
- ◆セッション1 「改めて考えるNPOにできること」13:00~14:20
登壇者:杉浦福之助氏(NPO法人ココエ・ココエ) 野村真博氏(NPO法人NPOセンター)
コーディネーター:永井美佳氏(社会福祉法人大南ボランティア協会)
- ◆セッション2 「改めて考える被災者を変えるヒト(組織)」14:30~15:50
登壇者:田口博史氏(岐阜県地域福祉課) 齊藤浩昭氏(岐阜県社会福祉協議会)
コーディネーター:岡崎秀治氏(JVOADシニアコンサルタント/全国社会福祉協議会)

主催 岐阜県社会福祉協議会 ぎふNPO・生活学習プラザ(委託:県・運営:NPO法人ぎふNPOセンター)
定員 150名(申し込み先着順)
申込み 会場の申し込み用紙をFAXしていただくか、E-mailに必要事項を記入し送信してください。

基調講演 「災害時にも活きる、普段のことを考える」

講師:高山弘毅氏(Nukitoto代表)
各地の被災地の事例を基に、災害時に行われた「コミュニティマッチング」の機能を考察することで、「平時からの災害にも強い地域づくり」の観点から、それぞれのセクターについて考えます。
1978年より、大企業事業、ネットイコサグループとアソシエーション業務での仕事を経験。その後、NPO活動に携わり、NPO法人レスキューズ・ストックヤード、NPO法人NPOセンター、全国社会福祉協議会、岐阜県社会福祉協議会、岐阜県ボランティア活動推進センター、岐阜県ボランティア活動推進プロジェクト協議会(現岐阜県ボランティア活動推進センター)の理事を務める。2017年に退任。Nukitoto代表、地域福祉の構築に尽力。異なる地域、年代、専門性の人々を「結びつけること」を使命に、さまざまな活動に取り組む。



パネルディスカッション 「その時、誰で何が起きた!」

登壇者:山田仁司氏(岐阜社会福祉協議会) 浦野愛氏(NPO法人レスキューズ・ストックヤード)
コーディネーター:高山弘毅氏(Nukitoto代表)
7月の豪雨災害で、岐阜で何が起きたのか、当時の様子をお話しながら、関係社協における被災者支援活動の取り組みや、各自の役割、NPOの強みと連携について話し合っていきます。

セッション1 「改めて考えるNPOにできること」

登壇者
杉浦福之助氏(NPO法人ココエ・ココエ) 野村真博氏(NPO法人NPOセンター)
コーディネーター
永井美佳氏(社会福祉法人大南ボランティア協会)
NPOとして災害時にどんな事が出来るのか、またそのために平時からどのような取り組みが必要なのか、県内での災害支援活動を通してNPOの立場から考えます。

セッション2 「改めて考える被災者を変えるヒト(組織)」

登壇者
田口博史氏(岐阜県地域福祉課) 齊藤浩昭氏(岐阜県社会福祉協議会)
コーディネーター
岡崎秀治氏(JVOADシニアコンサルタント/全国社会福祉協議会)
被災者支援ボランティアセンターにおいて、どのような事が実践となり、その実践について社協や行政としてどういった連携を築き、今後どのように取り組んでいくのか、参加者と共に考えます。

参加申込み FAX・メール・フォームでお申し込みください

申し込み用紙は、
ぎふNPO・生活学習プラザ 担当 電話
TEL:058-372-8501 FAX:058-372-8502
E-mail: gifu-npo-plaza@gifa.email.ne.jp
※FAXは「受付フォーム」に記入の上、お申し込みください。
※E-mailは「申し込み用紙」に記入の上、お申し込みください。
※FAX・E-mailの申し込みは、受付時間内のみ受け付けます。
※お申し込みの際は、お申し込みの旨をお知らせください。
※お申し込みの際は、お申し込みの旨をお知らせください。

OKBふれあい会館へのアクセス、駐車場



「地域づくりから災害支援を考えるシンポジウム」FAX申込書

参加者氏名	所属	電話番号	メールアドレス

※ご記入いただいた個人情報は適正に管理し、本企画運営上の連絡のみに使用させていただきます。
※申し込みによる申し込み用紙は、右記のQRコードよりフォームを開いてください。
ぎふNPO・生活学習プラザ 担当(電話/かこし) FAX:058-372-8502
申込締め切り 平成31年2月22日(金) ※定員になり次第、締め切りとなります。

